

子どもの姿・発達過程

みんなで、
考えよう！
挑戦しよう！
やり遂げよう！



- これまでの経験から、自信や、予想や見通しを立てる力が育ち、心身ともに力があふれ、意欲が旺盛になる。
- 全身運動が滑らかで巧みになり、さまざまな運動や遊びに取り組むようになる。
- 自分の好きなことや興味、関心のあることに集中して取り組み、自分で決めた目標に向かって意欲的に取り組むようになる。
- 身近な大人に甘え、気持ちを休めることもあるが、さまざまな経験を通して自立心が一層高まっていく。
- 自分なりに考えて判断したり、トラブルを自分たちで解決しようとするなど、互いに相手を許したり、異なる思いや考えを認めようとする。
- 自分と違う意見も受け入れて、自分の気持ちをコントロールしながら、一つの目的に向かって友達と協力できるようになる。
- 仲間の意志を大切にしようとし、協同遊びやごっこ遊びを通して、役割をもち、満足するまで取り組もうとする。
- 遊びや生活の中でのルールやきまりなどの必要性を理解し、自分なりに考えて、善悪を区別し、物事の判断が付くようになる。
- さまざまな知識や経験を生かし、創意工夫を重ね、遊びを発展させるようになる。
- 経験したこと、感じたこと、考えたことをいろいろな活動で友達と伝え合ったり、ともに表現することを楽しむ中で、イメージや感性が豊かになってくる。
- 思考力や認識力が高まり、自然事象や社会事象、文字などへの興味や関心も深まっていく。

家庭との連携
地域との関わり

懇談や行事などの機会を通じて保護者とともに子どもの成長を喜び、保護者同士で情報子育てに関する相談を受けた際は、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を基盤小学校との情報交換を行い、生活や遊びなどを通して培ってきた力や子どもの姿についてさまざまな人との関わりを通して社会性を身に付け、人に対する信頼感や相手を思いやる身近な自然との触れ合い、施設などへの関わり、文化や伝統などに触れることで自分たち

ねらい
●養護
●教育

- 一人ひとりの子どもの
- さまざまな用具を使
- 身近な人との関わり
- 身近な事物や事象に
- 絵本や童話、視聴覚教
- 身近な社会や自然事

思いや欲求を十分に受け止め、生命の保持と情緒の安定を図る。
い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
中で、自分の経験と重ねて相手の気持ちを理解し、進んで集団での活動に参加し楽しむ。
積極的に関わり、見たり、扱ったりする中で、その性質や数、量、形への関心を深める。
材などを見たり、聞いたりしてさまざまなイメージを広げ、言葉で伝え合う楽しさを味わう。
象への関心を深め、好奇心や探究心をもち生活や遊びの中に取り入れる。

内 容

■環境構成 ●援助

みんなとともに育つ子ども

のびやかでゆたかな心をもつ子ども
おもい、考え、行動する子ども

健康

自分で考え見通しをもって意欲的に
●自分たちで生活の場を整え、見通しを
●自分の体に関心をもち、健康で安全な生
について自分から伝えようとする。

いろいろな運動を経験し、自分の力
●全力で挑戦し、全身を使って遊ぶ気持ち
戦し、諦めずに最後までやり遂げようとする。

生活しよう！
もって意欲的に行動する。
活に必要な習慣を身に付け、体の不調など

を引き出そう！
よさを味わったり、さまざまな運動遊びに挑
る。

- 時計やカレンダーなどを用意し、生活や活動に見通しをもち、自分で確認して行動できるようにする。
- 健康で安全に生活するための習慣などについて、なぜ必要かということ意識して丁寧に知らせていく。
- 「自分の体」「自分だけの大事なところ」「嫌な気持ちになったときの対応」について考える機会をもち、自分と相手の体を大切にできるようにしていく。
- 運動遊びに自分から挑戦してみようという気持ちを大切に、過程を認め、満足感や達成感が得られるようにする。

人間関係

コツコツがんばってみよう！みんな
●自分の思いを伝えようとしたり、友達の
いに気付く。
●きまりがあることの大切さに気づき、自
●友達と一緒に決めた目標に向かって、試
げようとする。

で力を合わせよう！
行動に自分の経験を重ねることで相手の思
分たちでつくったきまりを守ろうとする。
したり、工夫したりしながら協力してやり遂

- 活動を振り返り、互いの思いや気持ち、考えを知り、共有や共感ができる場や時間をもつ。
- 協力し合ったり、ともに遊んだりつくったりする経験ができるよう、玩具の提供方法やスペースの使い方を工夫していく。

言葉

絵本や物語に親しみ、言葉の豊かさ
●絵本や物語、詩などに親しみ、その面白
さを共有したりして遊ぶ。
●相手の質問や説明などを注意して聞き、
わう。

を味わう
や言葉の美しさに気づき、想像したりイメ
相手に分かるように話し、伝え合う喜びを味

- 興味や関心に合わせて、見る絵本、読む絵本、調べる本などを用意し、子どもが選んだり手に取りやすいようにする。
- 子どもが話す時には場を整え、聞いてもらう喜び、伝える喜びを感じられるようにする。

環境

**不思議だな、考えてみよう、試してみ
好奇心や探究心をもち、生活や遊び**
●自然や身近な事物・事象に触れ、しくみや
ら探究していくことを楽しむ。
●さまざまな用具を使い、素材を組み合わせ
●数量、図形、身近にある文字、言葉などに
とする。

**よう！
の中に取り入れよう！**
不思議さに気づき、予想し、試し、工夫しなが
せてつくったり、工夫して遊ぶことを楽しむ。
興味、関心をもち、生活や遊びの中で使おう

- 自然の変化や生長などに驚き発見したことについて、探究心を深められるよう、図鑑や試すことができる素材、用具などを用意する。時には子どもからの要求を待ち相談に応じ、必要なものを準備する。
- 日常生活で使用するマークや写真には文字や数字も併せて表記し、文字や数量に関心をもてるようにする。また、生活や遊びの中で、数える、比べる、合わせる、測る、量るなどの機会をもち、自ら試せるよう必要な用具を用意しておく。

表現

感じよう 表現してみよう
●生活や遊びの中で、美しいものや心動か
●友達とイメージを共有して、感じたこと、
さまざまな方法で表現し、創造していくこと
●いろいろな曲やリズムに合わせて、友達と
たりする中で、気持ちを合わせる心地よさを

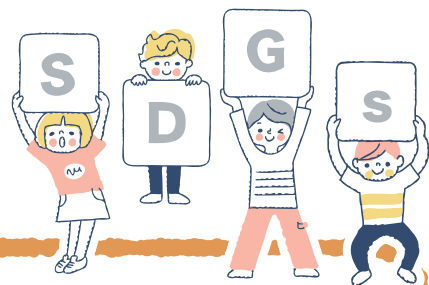
す出来事に触れ、感性を豊かにする。
想像したことを言葉や体、音楽、造形などさ
楽しむ。
一緒に歌ったり、楽器を奏でたり、体を使っ
表現することを楽しむ。

- 保育者が積極的に驚きや感動を豊かな言葉や表情で表現する。
- イメージを膨らませて遊べるようにさまざまな素材を工夫し、選んだり手に取れるように準備しておく。
- 子どもが工夫してつくったり、かいたりする姿や豊かな発想を認め、共感していく。
- 身近な楽器や音楽に触れ、歌ったり演奏したりなど自由に表現し、友達と合わせられた喜びや満足感を味わえるようにする。

交換や情報共有できる場を設けて、就学に向けて安心感をもてるようにする。①④
に保護者一人ひとりの思いを尊重する。②③
共有する。①②
気持ちをもつ。(あ)(い)
の住む地域に親しみを感じ、豊かな生活を体験する。(う)(え)(お)

※数字①～④は全体的な計画の「家庭との連携」を具体的に表したものです。
※ひらがな(あ)～(お)は全体的な計画の「地域との関わり」を具体的に表したものです。

子どもとSDGs【5歳児】



お米（食べ物）が
できるまでの過程に
関心をもつ

これがお米に
なるんだね

さまざまな気候変動を知る

大雨や台風、暑い日が続くなどの気候変動
が農作物の生長に影響することを知りぎっ
かけとなります。

稲を
刈ろう！

「食」への
感謝を
実感する

収穫して食べる
喜びを感じる

食育活動のひとつに米
作りがあります。
田んぼやバケツなど、さ
まざまな栽培方法があ
ります。

育て、収穫し、食べるという連の経
験は、世界中で十分な食べ物を手に
入れるための食糧作りのしきみを整
えることにつながります。



ものを大切に使う

身近にある用具や材料を使って工夫
したり試したりしながら遊ぶことを楽
しむ中で、ものを大切にする気持ちが
育まれます。

きれいに片づけると
気持ちがいいね！



進んでかたづけをする

ものを大切にする気持ちが育
つとともに、遊んだ後は責任
をもって、進んでかたづける姿
が見られるようになります。



再利用やリサイクルに興味をもつ

捨てるものと再利用できるものを区別するな
ど、再利用やリサイクルへの意識や関心が、豊
かな海や森の資源を守るにつながります。



いろいろな
再利用があることを
知る

ふかふかの
土になあれ！

野菜のくずなどの有機物
をコンポスト容器に入れ
ています。できあがった堆
肥を園での野菜や花の栽
培に活用することで、子
どもたちは資源の循環を体
験しています。



いろいろな素材や
材料で自由に遊ぶ

ドングリ
上手く
転がせるかな

ドングリ転がしコースづくり



ドングリの粉で
クリームが
つくれそうだよ！

さまざまな素材や材料を使って遊ぶ中で、新たな発見をし
たり、どうすれば面白くなるか考えたり試したりしながら工夫す
ることを経験し、思考力や探究心が育まれています。

友達とアイデアを出し合い、
試したり、考えたり
しながら遊びを発展させる

友達の思いや考えに触れ、新しい考
えを生み出す喜びや楽しさを味わう
ことで、自ら考えようとする気持ちに
つながっています。

自由で柔軟な発想へ
つながっていく



性別の違いや年齢に関わらず、い
ろいろな友達とかかわる中で、お
互いに助け合いながら遊びや活動
を進めることを楽しみます。

いろいろな友達と
出会う

友達のことを
知ろうとする

友達と遊ぶ中で、思いの行き違い
からけんかになることもあります。
保育者に公平に仲介され、互いの
思いを伝え合うことで、いろいろな
考えがあることを知り、尊重され、
分かり合う喜びを感じる経験を積
み重ねることができます。

好きな遊びは
何ですか？

鬼ごっこが
好きです



お互いに助け合う

小学校・地域の方々などと交流等を行う中で、さま
ざまな人と関わり、教えてもらったり、一緒に考え
たり、解決したりする経験は、協働する姿勢の基礎
となっています。

一緒に遊ぼう！



いろいろな人と
関わるの楽しい！

1年生に
手紙を書こう！

自分の気持ちを
伝えたり
友達の思いを
知る

友達のことを知る機会は、さまざまです。インタ
ビュー形式で好きなことなどを聞いたり、
数人で集まり、気付きや考えを出し合
うこともあります。繰り返し機会を設けるこ
とで、友達の思いを知ったり、認め合ったり
する姿につながっています。

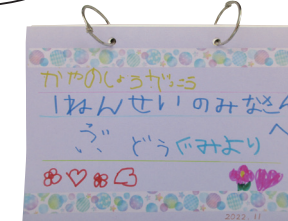
ぼくは
こう思ったよ



いろいろな気持ちか
あるんだな

人と人とのつながりを
大切にする

いろいろな人とのつながりが人間
関係づくりの基礎となり、自分から
進んで人と関わろうとする気持ち
につながります。



互いのことを知り合う

個々の状況に関わりなく、世界のさまざま
な人々と相互理解し、幸せに暮らすことが
できるように願う気持ちが育っていきます。

いろいろな国や人が
いることを知る

たくさんの
「国」があるね

「平和」について考える

子どもは、テレビのニュースなどから見
聞きし、世界で起こる事象に関心をもち
ます。機会を捉えて話し合いをする中で、子どもたちなりに
問題意識をもつ姿が見られます。



みんなが
「平和」だといいいね



相手を大切に思う

